

月例情報市場報告

ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク

2017年1月18日、月例情報市場を開催しました!

参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回は2月15日です。是非お出かけください!



今回ご参加いただいた方々です。

- 社会福祉法人森と木 久保さん
- オテガミプロジェクト 久保田さん
- 長野県 県民協働課 片山さん
- 山楽会(さんらくかい)・支援ネット理事 高沢さん

- ・プロジェクト亞璃紗 臼井さん
- ・精神保健福祉ボラ ホワイトナッツ 本田さん
- ・ねこの命をつなぐ会 百瀬さん
- ・支援ネット理事 木賣さん
- ・ステップハーモニー 小林さん
- ・長野市ボランティアセンター 小宮山さん

久保さん 長野市平林にあります社会福祉法人“森と木”の職員久保と申します。すごく久しぶりの参加です。都合が悪くてなかなか出席出来ませんでした。今日は特にチラシとかはありませんが、みなさんのお話を聞いて刺激を受けたいと思います。

久保田さん 被災地にオテガミを送る活動をしています。今年度やりたいと思っているのは、被災地から語り部さんを長野にお呼びして生の声でお話いただくということです。どうしてこのような活動をするかということ、千年に一度と言われる震災も6年経ち、だんだん風化してきて、子供たちにも伝えていくことはとても意味のあることだと思っているからです。10月31日の市民新聞でも取り上げていただきました。

片山さん 普段はNPO法人を担当している課におります。今日は職場の隣に事務所がある「長野県みらい基金」さんの「こども基金」の宣伝に来ました。NPO法人・市民団体対象で、育児・子育て、青少年健全育成、ひとり親家庭支援などの事業に対しての助成金になります。チラシをご覧ください質問等ございましたらお声がけいただけましたらお答えいたします。

高沢さん 支援ネット(理事)、そして山楽会(さんらくかい)もやっております。

小宮山さん 今回、このブルーのチラシで福祉教育のつどいのお知らせに参りました。今年のテーマは「私はあなたたちに伝えたいことがある！だから学校に

いく！！」となっております、実際に各小中学校、高等学校へ福祉教育の講師として行っていらっしゃる方々がどのような思いで行っていらっしゃるかというその思いというものをお聞きしたいと思ひましてこのような企画にさせていただきました。申し込み締め切りが今月末 1 月 30 日となっております。平日で参加しにくいところもあると思いますが、是非ご参加いただきたいと思ひます。

臼井さん ゆるキャラのお手伝いで、ギャラとかいらないのでゆるキャラのあり方を訴えさせてもらい、人との交流の仕方、いじめ・動物虐待など考え直そうという活動をしています。チラシにあります、1 月 22 日「忍者フェスタ」のお手伝いもさせていただいています、ボランティアの募集もありますし、お客さんとしても来ていただきたいと思ひます。

本田さん 1 月 15 日、雪の中初詣イベントしました。雪の為どんどんキャンセルが入り、これは中止かなと思ひて待ち合わせ場所に行きましたら 10 人弱の方々がいらしゃって、雪の中善光寺を参拝してからコートダジュールで夕方迄ゆっくり過ごしました。雪で足元が悪くても行きたいところには出てくるんだなと思ひました。必要とされている嬉しさと、責任感とで不思議な気持ちになりました。

百瀬さん ねこのボランティアの活動をしています。シェルターを運営しているんですが相変わらずです。29 年度は会員を増やしたりして活動を広げていきたいと思ひています。28 年度にささえあい応援金をいただいて 4 回開催した「ねこ塾」に肉付けをしていけるような活動をしていきたいと思ひています。

込山会長 昨日のような雪降りでしたら、雪を理由に「ごめんなさい、今日やりません」って言ったと思うのですが、今日は晴天でこれだけの皆さんが集まってくださってよかったなあとと思ひました。

木賣さん 南堀の西教寺というお寺の住職を務めております。また、支援ネットの理事そして長野市ボランティア運営委員も仰せつかっております。

小林さん 初めておじゃましました。ハーモニカと社交ダンスのボランティアをやっていまして、誰から聞いたか忘れましたが、助成金があるときいて昨日ボランティアセンターに問い合わせをしました。その時に今日ここでこういうのがあると聞いてやってまいりました。1 月 26 日若穂の保科温泉のロビーをお

借りしてハーモニカの演奏会をやります。お風呂に入るのにはお金がかかりますが、演奏会は無料で行いますのでもしよかったら聞きに来てください。

込山さん ささえあい応援金をもらった方がこの中にもいらっしゃるので聞いてみましょう。

百瀬さん 昨年 28 年度にささえあい応援金をいただきました。最初やはり情報市場に出て、アドバイスなどいただきました。審査ではプレゼンがありました、審査員の前で短い時間ですがプレゼンをして審査を経ていただきました。それからなるべく情報市場には都合がつく限りは出席していろいろな人たちとつながりたいと思っています。

高沢さん 支援ネットの冊子を見てもらった方がわかり易いかな。（「支援ネット物語」をお渡しする）

それがいままで取り組んできた 10 年間でまとめたものです。そこにささえあい応援金をもらった人がのっています。そこから出発して NPO に大きく育っているところもあるし、きっかけ作りになっている。ステップハーモニーさんも今より大きくするんだったらこれをきっかけにして、成長していけばいいかなと思います。情報市場はそのためのものでもあるし、是非とも来てもらってプレゼンしてそれで足りなければいろんなところで支援してもらえるところがあるからチャレンジしていくのも良いのではないのでしょうか。

込山会長 この月例情報市場も若い方もいれば大先輩の方もいらっしゃって、色々な活動をされているみなさんがここに来るといろんな情報があるから集まってくれるわけです。今日初めて来てくださった小林さんがまた来月も来て下さることを願って、来月も皆様よろしくお祈いします。

物品情報

求む！

ボランティアセンターより単身者用洗濯機をもとめています。

提供可能なかたがいらっしゃいましたら、事務局の青沼(ライフデザインセンター ☎026-229-8001)までご連絡をお願いいたします

地域・職域防災に、陸前高田の『語り部』をご紹介します

～私達の被災地とのパイプをご活用下さい～

被災地オテガミプロジェクト 代表 久保田 洋一

千年に一度と言われる大災害を直接体験された多くの方々が、深い悲しみ・苦勞を抱えながら、復興の足取りの遅いなか、自分の生活やまちの再建に懸命に励んでいます。あれから6年、しかし遠く離れ直接関わりのない私達の日常生活の意識からは、そのことはほぼ消え去っています。

災害（種類を問わず）は、いつ、どこに、何が来るか分かりません。いつもその心の準備と、とっさの時の優先順位を、地域や職域、学校内で共有し、定期的に確認・メンテすることが大切です。特にそのリーダーは、我が身を守りながらリードする、重大な責任がある事を強く認識する必要があります。

そこで、東日本大震災での貴重な体験を、直接聴いたり、視る事は、地域や職域の防災に役立つと考えました。陸前高田は今回の大震災で最も大きな被害を受けたまちの一つで、これ以上の先生はありません。同市には※総務省消防庁が認定し、全国に派遣されるための「語り部」が5人、観光物産協会所属の方が6人、その他の語り部が2人おられます。この方々の体験談を直接聴いて防災の勘どころを勉強することは、地域防災計画、避難時初動マニュアル、避難マニュアル、避難所運営マニュアル、誘導マニュアルetcの作成にも有効と思われます。そして被災地との交流親交のきっかけにもなります。

私達は平成24年から、主に県下から被災地への想いを、お手紙やマフラー、お花の種などで集め、陸前高田の仮設住宅・災害公営住宅・一般市民にお届けし（28/末約3,800件）、又相互に絵手紙展を開催し、現地にも13回訪問、交流を深めて多くのパイプが出来ています。語り部さんも何人かと親交しています。28/11にはコーラスグループ(25名)を同行し、現地3グループと交流しました。従って多様なお問い合わせに対応できると考えます。お気軽にご用命下さい。

※「災害伝承10年プロジェクト」(別紙)

ご連絡・お問い合わせ：090-2455-5677 久保田

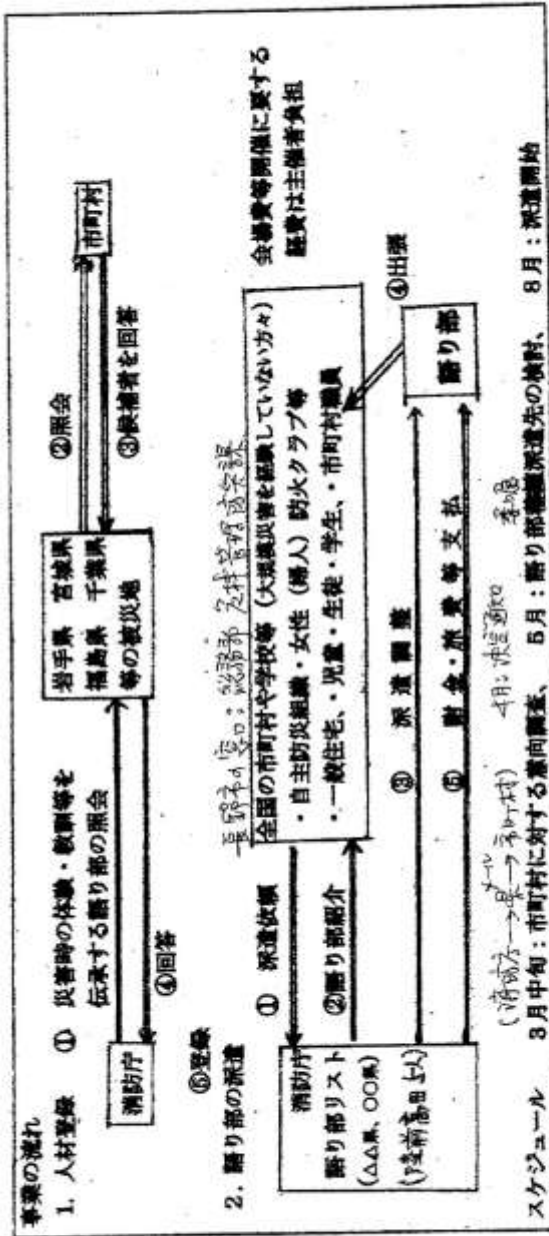
同様趣旨のご案内を、県及び市の危機管理防災課、市/学校教育課、地域活動支援課、長野市内全小学校（57）と住民自治協議会（32）に差し上げてあります。地域などでの連携も効果的と考えます。

災害伝承 10 年プロジェクト上

徳島県 消防庁

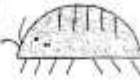
概要

市町村の災害対応力の強化や地域住民の防災意識の向上を図るため、東日本大震災の被災地で活動した市町村職員、消防職員、女性(婦人)防火クラブ員、自主防災組織の方々を語り部として派遣します。





だんごむし広場



※「だんごむし」とは地震時に自分の身を守るポーズの1つで、子どもたちにも覚えやすくネーミングされたものです。

～真島小の防災教育～

参加
無料

防災でつながろう 学校・家庭・地域
防災でつなげよう 子どもたちの未来へ

任意あり
希望する方は
お電話ください
真島小学校

平成29年**2月4日(土)** 10:00～12:00 受付9:30

会場:真島保健センター(長野市真島町真島1361-22 駐車場あり 裏面の地図参照)

真島小学校では「自分のいのちやからだを主体的に守れる子ども」を願い、学校保健委員会・PTA講演会に慶應義塾大学の木村聖子先生をお招きし、「地震・大雨に関する防災教育」を2年間行ってきました。様々な場面を想定したショート訓練を繰り返すことや、研究室学生が発行するおたより「月刊だんごむし」を用いて、担任が毎月防災学習を行うことで、子どもたちは自分で危険を判断して自分の身を守るという力を身につけることができました。

災害はどこにいても出遭う可能性があります。子どもたちが真島小学校を卒業し、将来、どこに誰と住んでいても、地震や水害等の自然災害が起きた時に、自分のいのちや大切なひとを守ることを願い、今回、真島小学校の取組などを発表し、「防災」について考える一助にしたいと思っています。どうぞみなさん「だんごむし広場」にお集まり下さい。

展示コーナー

我が家の
非常持ち出し袋
私の防災ポーチ



第1部

10:05～10:35

「大好きな真島を災害から守ろう

—僕らの視点の安全マップ—

真島小学校 4年東組 児童



第2部

10:40～11:25

「真島小での防災教育・2年間」

慶應義塾大学 大木聖子研究室
飯沼貴朗さん・山崎理沙さん・田上翔さん

特別講演

11:25～11:55

「未来へとつなぐ 防災教育」

慶應義塾大学環境情報学部 准教授

地震学者 大木聖子先生

主催:長野市立真島小学校 長野市立真島小学校PTA

協力:東北地区住民自治協議会真島地区委員会 真島地区区長会(ながの災害防災ネットワークから)

後援:長野市 長野市教育委員会 長野市社会福祉協議会 長野県社会福祉協議会 長野県NPOセンター

事務局・お問い合わせ:長野市立真島小学校 TEL:026-284-2029

2016

はたかひの無い生活
長野るつきん

長野るつきん 「子ども基金」



子供の将来が、その生まれ育った環境によって
左右されることのないよう、
地域の子どもに関する課題解決に取り組んでいる支援団体と連携し、
ひとり親世帯を中心に、長野県内の子育て世帯を
応援する取り組みを支援する基金です。



長野県労働金庫冠寄附運営団体
認定NPO法人
長野県みらい基金

長野ろうきん 「にども基金」助成団体募集要項

子どもたちが抱える課題の解決に向けて、積極的に活動するNPO等(非営利団体)を支援するために創設された「にども基金」です。

助成団体へのお願い

長野県労働金庫へご相談に来られた「ひとり親家庭等の方」の相談窓口等、お客様の相談を受け入れていただける団体(ホームページへ団体名を掲載いたします)

募集要項

助成対象団体

- ①NPO法人
- ②非営利市民活動団体
- ※主たる事務所の所在地が長野県内にある団体

助成対象となる事業内容

- ①育児、子育てに関する活動
- ②青少年健全育成に関する活動
- ③ひとり親家庭を支援する活動
- ④その他、本制度の目的に沿うと判断される活動

助成金額

- 一団体当たり5～10万円(できる限り多くの団体への助成を予定)

助成金使途

- 事業運営資金、研修費、改装・備品購入費、(事業目的に関連する備品)
- 人件費(事業遂行に必要な費用)その他、この制度に沿うと判断される使途
- 団体の経常的な運営経費
- 公共料金、交通費など日常的な経費

事前団体登録が必要

- 助成金の応募に当たっては、事前に「長野県みらいベース」への団体登録が必要です。
- 登録は、募集期間にかかわらず随時受け付けています。

団体登録の方法

Webサイト「長野県みらいベース」より団体登録要項をダウンロードし、要項を

よく読み、各項目に入力、印刷して、必要な箇所を押印する。添付書類を同封し、長野県みらい基金長野事務所へ郵送する。長野県みらい基金で審査をし、(任意団体の場合、面接をさせていただくことがあります。)審査終了後、団体登録審査結果通知書と登録料の請求書(2,000円で3年目の3月31日まで有効)を送付しますので入金をお願いします。

助成金の応募方法

Webサイト「長野県みらいベース・長野ろうきん子ども基金」ページからダウンロードする各項目を入力の上、印刷、押印して郵送ください。(メールでの応募は、受け付けておりません。受付期間:10月3日～11月30日(当日消印有効))

助成の対象とならないもの

- 事業終了後の欠損補填
- 継続的事业で、一部助成しても次回からの見通しが立ちにくいもの
- 実施済み事業

助成申請書の公開

- 申請された事業内容は、Webサイト「長野県みらいベース」上に団体名を明記せずに公開します。

選考

長野県みらい基金審査委員会による厳選な審査により決定します。

選考の主な視点

- ①育児・子育て、青少年健全育成、ひとり親家庭支援に寄与すると思われるもの
- ②申請された事業が確実に行われると判断できるもの、実行可能な組織であること

応募期間 スケジュール

- 助成申請告知 2016年10月22日(土)
- 助成申請受付期間 2016年12月1日(休)～2017年1月31日(火)
- サイト上公開 2016年12月1日(月)～2017年2月28日(火)
- 結果発表 2017年4月20日(木)
- 助成金交付 2017年5月10日(水)
- 事業実施期間 助成交付日～2018年1月31日(水)
- 報告書の提出 事業終了後直ちに、遅くとも2018年2月28日(水)

申請方法

長野県みらいベース
(www.mirai-kikin.or.jp)の募集要項によるまたは、申請書類を下記へ請求していただき、郵送などでの申請も可能

提出先

認定NPO法人 長野県みらい基金
「長野ろうきん子ども基金」係(下記住所)

結果発表

選考結果は、郵送かメールにてお知らせします。



寄付募集サイト「長野県みらいベース」運営 認定NPO法人 長野県みらい基金

お問い合わせ先

〒380-8570 長野県長野市南長野町下692-2 長野県庁東庁舎1階 TEL:026-217-2220 FAX:026-217-2221
〒390-0852 長野県松本市大字島立1020 長野県松本合同庁舎1階 TEL/FAX:0263-50-5535
http://www.mirai-kikin.or.jp info@mirai-kikin.or.jp

長野県みらいベースは、平成24年度に長野県が構築した公共的活動応援サイトです。

私はあなたたちに伝えたいことがある！ だから学校に行く！！

日 時：平成 29 年 2 月 2 日（木）14：00～16：30

場 所：長野市ふれあい福祉センター

全てはお互いに理解しあうことから始まります。ステキな授業を体験しに来てください
平成 29 年度福祉教育・ボランティア普及校事業・サマーチャレンジボランティア 2017 のご案内を致しますのでご担当の方は
ぜひ、ご出席ください



人権同和教育の集会で、ロックの生ライブが始まった！？

コーナーは人、ロープはゴム、リングはみんなで作る障がい者プロレス…

目隠しをして、スズにボールの受け渡しをするにはどうしたらいいかな？
作戦タイム中！

正直言って、障がいを持つ人とどうふれあったらいいのかわからない。でも一人の人として向き合いたい



目の見えない人は暗い人だと勝手に思っていた。明るく前向きな人だったので、自分も何事も頑張らなければと思った

パネルディスカッション

◆テーマ

「私たちはあなたたちに伝えたいことがある！
だから学校に行く！！」

◆パネリスト

Sky Road	百澤昌信さん
F.C 長野 RAINBOW	中沢 さん
NPO 法人 happy Spot Club	高山さや佳さん
NPO 法人ヒューマンネット長野	川崎昭仁さん

◆ファシリテーター

善光寺びんずる市実行委員長 箱山正一さん

◆コメンテーター

長野市教育委員会 三ツ木辰巳さん

目からウロコの模擬授業

◆Sky Road の障がい者プロレス

コーナーは人、ロープはゴム、リングはみんなで作るもの！

◆中沢 さんのブラインドサッカー

ルールは目をつぶるだけ！
誰でもできる楽しいサッカーの授業の始まりです

◆川崎 さんの車イスで鬼ごっこ

車いすの友だちとどうしたら一緒に鬼ごっこができるかな？みんなで車いすに乗ればいい！

問合せ

長野市ボランティアセンター 小宮山 高田 瀬澤

電話 026-227-3707/FAX 026-224-1513

綱渡り自転車を作ろう



太い針金を使って綱渡りができる自転車を作りましょう。人形は別ですが、バランスよく綱渡りをします。子どもの集まり、レクリエーションの集まりで披露しませんか？高齢者のサロンでも喜ばれると思います。自転車の車輪の直径は約12～15cm、針金は#12（太さ2.5mm）および#10（太さ4mm）を利用します。そとで、太めの綿糸を張って自転車を動かして遊びましょう！！

日 時：平成29年2月9日(木)午前9時30分～午後3時
場 所：長野市ふれあい福祉センター6階ホール
参加対象：工作ボランティアに興味ある人
参加費：700円（針金、車輪用段ボール、綿糸代込み）
定 員：20人
持ち物：大き目のベンチ（プライヤー、コンパス、ある方はお持ちください）

講師

ゆーかい工房

川上 明 氏

工学博士

針金細工で乗り物、ヤジロベエ、等を作っている。子ども達の集まり、お祭りなどで披露しながら物理・科学の原理をわかりやすく説明して楽しませている。

長野市社会福祉協議会

問合せ・申込み

長野市ボランティアセンター

担当：小林

TEL：026-227-3707

FAX：026-224-1513

2017
1.22



イベントの収益金は、こどもの
育成を目的とした、NPOの事業
に役立てられるよ!

入場無料

10:30 ~ 14:00

NPOのチャリテイイ

忍者フェスタ 2017

in もんぜんぶら座



7つの忍者正月遊びに挑戦!

NPOなどが企画する
体験コーナーを遊びつくそう!



しゃてき、
ふうせんジャングル、
わなげ、おりがみ、
おぼろごっこ
ごま、めんこ

チケット制
11枚つづり
500円

※各コーナー指定された
枚数で体験できます

地元の学校も参加!!
交通ごろうくゲームを
通じて、楽しみながら
学びましょう!!



楽しいステージに集合!



たまごレース 忍者演舞
あんぽ出演 など



スタンプラリーで賞品をゲット!

曜日風屋台でお買ひもの!



いれたてコーヒー屋さん
まちのケーキ屋さん
ねこグッズ
忍者グッズ
ほか

フードドライブ同時開催!



生活に困っている方に...
ご家庭で眠っている
食料品をお持ちください!
[レトルト、インスタント食品、食米、
お菓子など、賞状期間が1ヶ月以上あるもの]
協力/NPO法人フードバンク信州

あったか
汁物ふるまい
あり!



忍者五つのおまじない

- 一、あひまじ、かけごえ
- 二、おもひやり、はげまじ
- 三、ちまごをつかなぬ
- 四、がんばる
- 五、まぐ、やすむ

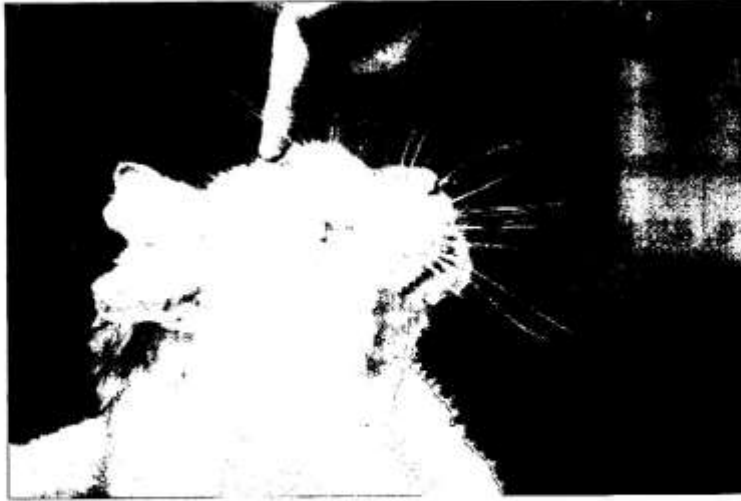
主催：忍者フェスタ 2017 実行委員会、ながの協働ねっと

実行委員会参加団体：NPO 法人こども忍者スクールながの忍法部会、NPO
法人食育体験教室・コラボ、NPO 法人 Happy Spot Club、NPO 法人長野スポー
ツコミュニティクラブ東北、NPO 法人みどりの市民、NPO 音空の会 紅葉の里、
翠翔会



ながの協働ねっと お問い合わせ先
事務局：市民協働サポートセンター
長野市新田町 1485-1 もんぜんぶら座 3F
TEL026-223-0051 FAX026-223-0052
E-mail: nppo@nagano-shimin.net





はじめまして！ねこツナです！

私たちは、長野市を活動の中心として、県下各保健所で殺処分され
そうな猫たちを引き取り新しい家族を探すシェルター活動をしています。
シェルター運営費用の確保のため、善光寺びんずる市やハピスポひろば
に参加しております。

なお、私たちの日頃の活動は、ブログ「ねこツナ日記」(アメブロ)にて
ご覧いただけます。一度のぞいてみてくださいませ。

ねこの命をつなぐ会 代表 関

ねこの命をつなぐ会って

私たちは、平成23年4月に、犬猫の殺処分ゼロを目指すため、特に処分数の多かった成猫を引取り、新しい家族を見つけるための保護収容する猫のシェルターを、長野市に作りました。設立後88匹受入れ、譲渡した猫は64匹、病気や老衰で死んだ猫は10匹、現在12匹がシェルターで生活しています。

当会は、保健所の収容猫だけでなく、地域における猫のトラブルのご相談もいただくことがあり、微力ながらお手伝いしております。

しかしながら、このシェルターの運営は、決して楽なものではありません。猫たちの餌代、猫砂代のほかに、病気猫の医療費がかさみ、現在のままでは運営費が間に合いません。

どうか皆様のお力を少しだけお貸しください。

直接のご支援は、銀行振り込みの場合

ゆうちょ銀行 店名118 店番118 口座番号4055675

ネコノイ/チヨツナグカイ までお願いします。

また、シェルターでのねこのお世話をしていただけるボランティアさんも常時募集中ですので、どうぞ代表までご連絡ください。

シェルター見学も歓迎です！



代表連絡先:090-2731-0780